

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次整備提案書



### ※ 記入上の注意

- ① 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。

<b>整備提案名</b> (25字以内)	千代崎川の碑作製と震災復興橋の一部保存
<b>提案グループ名</b> (25字以内)	千代崎川の歴史を残す会
<b>グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績</b>	上記目的達成可否の予備調査 千代崎川の文献・地図調査 震災復興橋の寸法取り及び図面作成
<b>整備場所の所在地</b> (町名又は丁目まで記入)	中 区 上 野 町・丁目 1.2 上野橋、西1谷橋向の整備予定地 ※位置図及び現況写真(各A4判1ページ)を添付してください。
<b>整備提案の内容</b> (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)	現在上野町地区の旧千代崎川は覆蓋され道路より一段高くなって いるが平成20年度に地中ボックスカルバートを埋め、地表は平坦化され この川があった事も忘れられてほろと考えられる。そして千代崎川には殆んど この川が残っていない震災復興橋は除去、廃棄されてほろ。 そこで平坦化された土地の一部に千代崎川の歴史の記した碑を建てまた 上野橋と西1谷橋の親柱・欄干の一部を原形に修復し保存整備の事を行 いたい。また調査の段階で新しい知見が多く得られた場合は千代崎川の 本の作成も視野に入れる。  整備費用の概算額：約 118 万円 ※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。(記入上の注意③)
<b>整備提案の動機や背景</b> (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)	当初の考え：旧千代崎の上野地区には昭和23年に作製された橋の親柱等が 四つの橋で残っており、碑の作製と共に橋の修復・保存を考えた。 町内会長と懇談後：上野町と協同で行うべきと考え、町内会長と懇談の結果、 南野処理区千代崎地区下水道再整備工事が推進中である事を知り、 橋は一部保存する方針に変更し提案を行い、決意を得た。 表題の「千代崎川、碑作製と震災復興橋の一部保存」事を提案する 地域の課題：横浜市中区ではあるが、トンネルを越えれば横濱の発展と 一体となる訳ではなく、地味な面がある。それは山手や根岸の丘陵で 遮断されている事による。その産物である千代崎川の歴史を残す事に 地域の方からの支持は今までの活動の感触から内題なく協力を得ると 確信している。本質的に解消すべきは存在の事は無いと考える。

<b>整備の効果</b> (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)	現在、上野町には橋が残っていて、いに川があった事が分かるが、下水道再整備で平坦化されると、いに川がなくて震災復興で掘り下げ橋を作った事、更には覆蓋された事が全て忘れ去られてしまう。今回碑を作製、橋の一部を保存する事により、千代崎川の歴史を後世に残せ、地域のアイデンティティ、更には市民の史跡散策に活用出来ると思う。
<b>整備した施設の維持管理・運営</b> (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのように関わっていきますか?)	特別に必要は無いかと思うが、時々清掃や保守管理を行う。もし、事業が達成できたら、見学者に感想文を書かせるようにする予定であり、その内容から求められる方向を導く。
<b>○提案内容におけるアイデアやユニークさ</b> <b>○提案を実現するために活用する地域の資源</b> <small>注4)</small> <b>○その他提案について特にPRしたい点</b>	ユニークと言うより、行ゆなくてはならない事と考える。今回保存出来るのは昭和初期の遺跡が永久に失われて(もう、特に西)谷橋はアルデコ調で美しくこの意匠は千代崎川流域には見られない。 親柱等を橋から切り離した後、土間に安定に設置するための鉄筋溶接技術を持つ人、親柱等を補修するの左巻技術を持つ人、更には碑を作製してもらう所が課題であんが全て確保出来る。橋の基礎作りはグランドのメジャー及び地域の資源と活用して、自力で行う予定。 東京の日本橋の上には高連道路があるため、移設等が検討されている。一方横波で最も歴史的に有名な吉田橋は市の英断で地下に高連道路を通し、景観を保持。千代崎川は横波本牧地区を流れる小河川であり、都市化に伴い役割も変ってきて、今や完全に姿を消しつつある。その歴史を後世に残すことは吉田橋等と表裏の重要性があると思う。つまり、一級品を保存する事は当然重要であるが、そうでない物も残す事により、その時代を正しく詠みとれると思う。

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
  - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
  - ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例
  - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
  - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
  - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。
  - ・バザーなどで資金を集められそう。

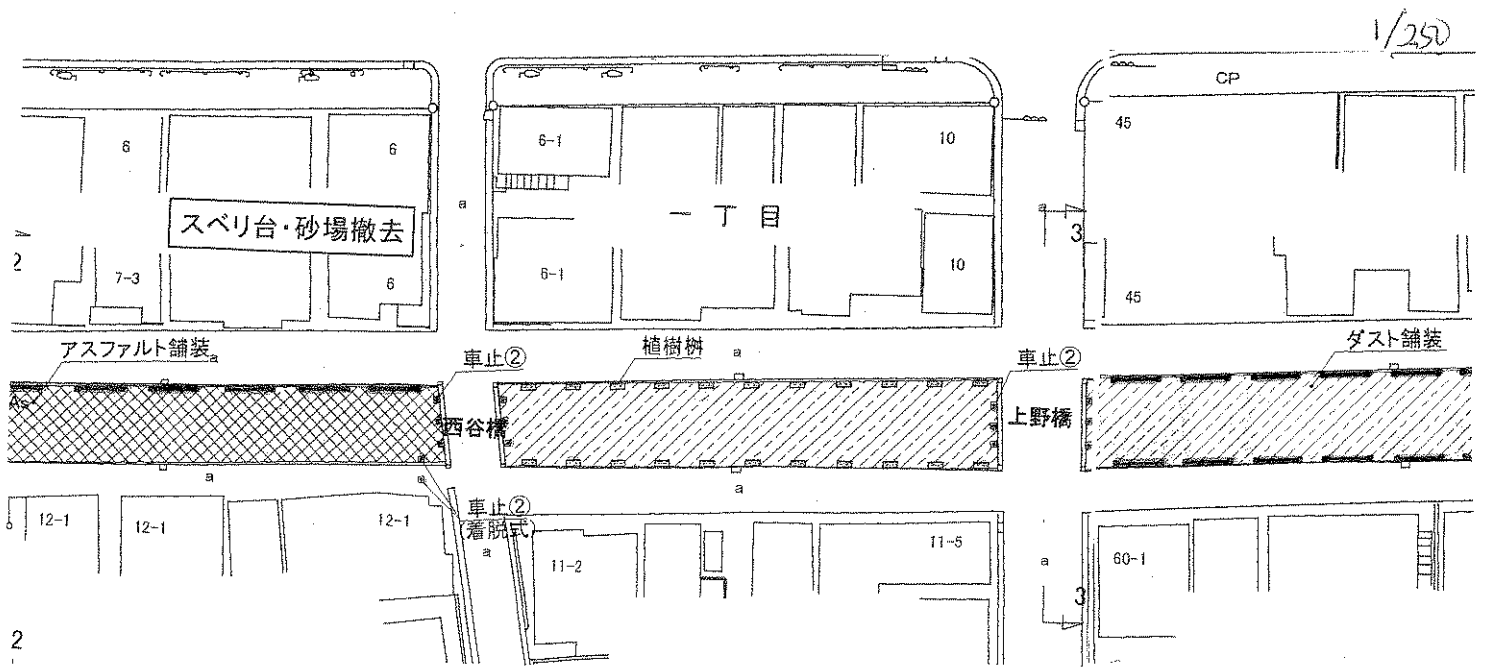
整備場所の地権者等 <small>注5)</small> への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
横波市環境創造局 環境整備部 管路再整備課と平成20年4月18日に面談も行った。	南部処理区千代崎地区下水道再整備工事を推進中であり、巧普請事業の一環に行っても良い。上野橋と西(谷)橋の撤去作業は再利用可能な方法で行う。碑と保存用橋の設置場所の提案は地域住民の意見を聞いて決める。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

- 記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
  - 記載内容に個人情報はありません。



中区明細地図 昭和37年度



1/250

南部処理区千代崎地区下水道再成備工事 水路蓋撤去後平面図 (横濱市環状創造局)

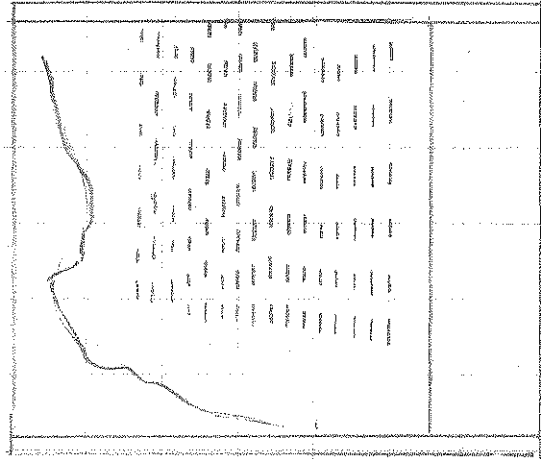
復元  
整備の場所としては西1谷橋と上野橋間の土地の一部に設置予定



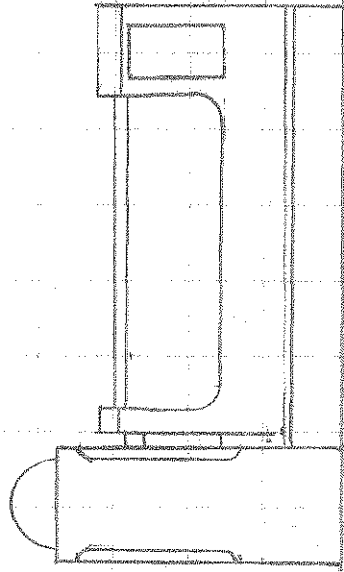
手前西ノ谷橋、奥上野橋

平成20年(2008年)4月16日撮影

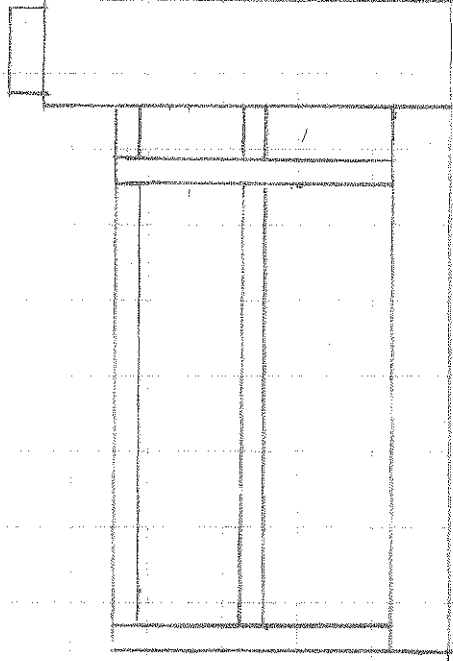
專業完成予想図



千代崎川の歴史記念碑



西ノ谷橋



上野橋

約4600



1/20

2008.5.13 長沢